

参議院選挙で安倍 9 条改憲 NO! の審判を下し、
憲法と子どもの権利条約がいきる教育と社会の実現をめざそう

「教員採用試験に合格し、この春から夢を膨らませて教員になりました。1 ヶ月働きましたがはっきり言って異常です。(中略) 子どもは本当に可愛く、やりがいのある素敵な仕事です。続けたいと思っています。しかしこのままでは質の良い教育を提供することはおろか教員が死にます。助けてください」

「せんせい ふやそうキャンペーン」ネット署名に寄せられた新採用の先生からの悲痛な叫びです。教育への夢や希望がうばわれ、全国各地で孤立し苦しんでいる教職員の SOS が聞こえてきます。教職員の長時間過密労働の解消は、子どもたち一人ひとりを大切にすることを実現するためにも必要ととりくみであり、子どもたちや父母・保護者、国民の切実な願いです。

改訂学習指導要領による道徳の教科化や英語教育の早期化・強化がすすめられるなど、いよいよ学校は息苦しい場所へと追いこまれています。また教育再生実行会議「第十一次提言」では、人格の完成から Society5.0 に対応するための「人材」の育成をめざし、教育の支配、教職員の管理統制と財界の求める教育の市場化をいっそう強めようとしています。あらためて、改訂学習指導要領の抜本的見直しを求め、憲法と子どもの権利条約にもとづいた、いのちと人権が大切にされ子どもたち一人ひとりの豊かな成長発達を保障する教育をすすめることが求められています。

安倍自民党政治が、ウソとごまかしで国民をだましつづけ、国民生活や年金制度を破壊して、憲法 9 条改悪に執念を燃やす中で、参議院選挙がたたかわれます。改憲 4 項目に「教育充実」を掲げ、教育を糸口に改憲発議へ向けた動きをつくりだすことは、国民を欺く許しがたい手法です。日本を戦争する国にするのか、それとも憲法がかがやく社会を実現するのか、その激しいせめぎあいの正念場ともいえる選挙です。

2 月の沖縄県民投票、4 月の統一地方選挙など、市民と野党の共闘は着実に前進を続けています。参議院選挙に向けて、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」が 5 野党・会派と 13 項目にわたる政策協定を結び、一人区すべての選挙区で野党統一候補が擁立されました。「教え子をふたたび戦場に送るな！」の決意を新たに、職場・地域から政治と教育を語り合い、安倍政治 NO! の怒りを結集し、参議院選挙をたたかおうではありませんか。

組織建設の「新たな 3 か年計画」が、各組織で豊かに練り上げられ、実践がはじまっています。全教の未来をみすえた議論は、着実に組織の展望をきりひらいています。全教共済 30 周年の今年、総合共済 9 万人を早期に達成し、共済のとりくみを発展させていきましょう。全教を大きくし、運動を前進させることが、子どもと教職員におそいかかる、なりふり構わぬ攻撃をはねかえす一番の力です。今こそ職場に根をはり、信頼し支えあい、憲法と子どもの権利条約がかがやく子どもの笑顔あふれる学校づくりをすすめ、仲間の輪をいっそう広げていきましょう。

2019 年 6 月 23 日

全日本教職員組合第 59 回中央委員会